様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 610601	道路修繕事業	主管課名	土木管理課
この事務事業の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域		
	施策	誰もが安心して出かけられるまち	課長名	竹谷　好裕
	基本事業	生活道路の整備		

(1)事業の概要

市道各路線の緊急修繕を含めた道路維持補修工事を全市域において実施する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	舗装補修箇所数	箇所
②	排水施設の補修箇所数	箇所
③	緊急道路補修箇所数	箇所

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①現場パトロール　②舗装補修　③側溝補修　④緊急時に道路補修　⑤修繕業者の選択と見積依頼　⑥見積内容確認　⑦業者に修繕依頼　⑧現場と見積内容の確認　⑨設計書作成　⑩工事発注　⑪支払い事務

26年度計画	■前年と同様 □変更あり	変更内容	

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

認定市道
歩行者
通行車両

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	認定路線数	路線
②	みよし市の人口	人
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

歩行者の安全確保を図る
道路交通の安全確保を図る

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	修繕済み箇所数	箇所
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	歩道付道路の整備率（済延長/計画延長）	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	箇所	36	38	80	80	80	80
	②	箇所	23	43	40	40	40	40
	③	箇所	41	38	48	48	48	48
(6)の対象指標	①	路線	851	848	851	900	900	900
	②	人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000
	③							
(7)の成果指標	①	箇所	100	119	168	168	168	168
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	86	88	88	88.4	88.9	89.3
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	02	目	02

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	105,451	156,841	200,700	189,400	134,000	151,000
A 財源内訳	国庫支出金	千円	3,234	1,430	8,250	28,220	15,000	15,000
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	1,619	2,030	1,200	1,200	1,200
	一般財源	千円	102,217	153,792	190,420	159,980	117,800	134,800
人件費B		千円	7,346	7,229	7,229	7,229	7,229	7,229
	正職員従事時間×人数	時間×人	390 × 5	390 × 5	390 × 5	390 × 5	390 × 5	390 × 5
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円	467	467	467	467	467	467
トータルコストA+B+C		千円	113,264	164,537	208,396	197,096	141,696	158,696
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 路線	133	194	245	219	157	176
	②	千円/ 人	2	3	3	3	2	3
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等			
事務事業名	No.	610601	道路修繕事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
昭和５０年認定町道を管理するようになって　から	今後整備済み施設の老朽化等による事業の拡大が懸念される。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
利用者の安全確保	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：認定路線延長が増加している	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	道路法	
			この事務を行う根拠又は理由	認定市道における道路管理者としての責務である	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	道路施設における最低限の維持修繕である	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない → 内容	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	■ある □ない	内容	道路ストック総点検を実施し、交付金を受けて修繕する。	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	適正な維持管理・点検により施設の長寿命化を図る(橋梁)。 道路ストック総点検を実施し、修繕計画を策定し交付金を受けて修繕を実施していく（都市計画道路及び緊急輸送路）。					